

第 19 回介護・医療連携推進会議 議事録

【日 時】平成 29 年 6 月 14 日（水） 16 : 00~17 : 30

【場 所】ジャパンケア世田谷 会議室

【参加者】秋山 ICD、毛利 ICD、佐藤、村上 CM、手塚 CM、石濱、

松原あんしんすこやかセンター：栗橋様、やさしい手下高井戸：遠藤 CM 様、

梅ヶ丘駅前介護保険サービス：上田 CM 様、

民生委員会会長（松原 1 丁目担当）川上様、民生委員会副会長（松原 2 丁目担当）大塚様

議事録 石濱 英門

1.開会のあいさつ（介護・医療連携推進会議の目的）

別紙開催の目的参照

2. 介護・医療連携推進会議の参加者のご紹介

自己紹介行う。

3. 事業所概要

別紙参照

4. ジャパンケア世田谷 サービス提供情報の報告

別紙参照（利用者基本情報、資料 2 参照）

- ・利用者数は前回より 3 名増え 14 名。
- ・前回の会議の時より独居の方が増えている。
- ・導入目的は、自宅での生活を続けたい為など。
- ・主なサービスは、排泄介助、服薬介助、調理配膳など。
- ・デイサービス利用者は、5 名。

（利用実績、資料 4 参照）

- ・ケア内容→排泄、服薬、食事、入浴、起床、就寝介助などが多い。
- ・コール内容→転倒、排泄介助、話相手などが多い。
- ・随時訪問は、排泄介助や水分補給での訪問が多い。

（時間帯実績集計、資料 3 参照）

- ・定期巡回の訪問時間は、8 時、12 時、18 時の訪問が多い。
- ・コール受付は、朝 7 時台が多く、ヘルパーの時間の確認における電話対応となっている。
- ・随時訪問は、16 時、20 時～21 時の訪問が多い。定期の合間に呼ばれている。

5. 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護に於ける看護師の役割」

- ・障害があっても生きていく環境を提供するとともにその環境は持続可能でなければならない。
→自分の領域に暮らし、運命は自分で決めること。
- ・今、定期巡回が求められている要因は、2025 年の高齢化社会の問題がある。
→長期入院も困難となっている時流により、高齢者を支える体制の整備と多職種が連携し合える総合的なサービスが求められている。そのためちいき
- ・

6. サービスへの評価・要望・助言

・介護職は、医療行為が出来ない。薬は一包化の物でないと出来ない。家族は出来てもヘルパーでは出来ない事が多い。法律をかえないと違法行為になってしまう。

7.終わりのあいさつ

・定期巡回をもっと良くして行く為には、必要なサービスを行って頂ける事。随時では、今までお待たせする事も多かったので、拠点を増やして行き、5月には千歳船橋にサテライトを開設して行くので、期待に答えられるようにして行きます。

以上